科　目　名	学科／学年	年度／時期	授業形態
インターネット基礎	ネット動画クリエイター学科/1年	2024/後期	講義

授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	大元　元巳

授　業　の　概　要

パーソナルコンピュータを活用するために必要な知識と技術を概説する。さらにインターネトやセキュリティに関する注意事項、Webでのコミュニケーションを図るためのソフトウェアの使い方を解説する。

授業終了時の到達目標

・インターネット　ベーシック　ユーザー　テストを合格する
・インターネットを利用する上でのセキュリティの知識やモラルが身についている
・インターネットをビジネスに活用するための基礎知識が身についている

実務経験有無	実務経験内容
有	5年間証券会社にてシステム業務（売買取引）、経理事務、プログラムの経験を有する。 次いで、25年間（現在まで）、社会人教育（パソコン操作、情報処理）や専門学校での授業の経験を有する

時間外に必要な学修

日々のインターネット関連のニュースを取得し、情報を得る習慣をつける

回	テ　ー　マ	内　　　容
1	ガイダンス ITリテラシーとは タイピング	ITリテラシーを身に付けるべき理由 授業から得られること タッチメソッドタイピング
2	コンピュータの仕組みと動作	コンピュータの5大装置と機能 周辺装置 入出力とインターフェイス
3	ソフトウェア	ソフトウェアの分類 Operating　System Windowsの機能 ワープロソフトの活用
4	情報活用の基礎	拡張子の種類 各拡張子の性質と識別 ドライブツリーの使い方
5	iBAT インターネットの基礎	第1章　インターネットの基礎について
6	iBAT インターネットでの被害	第2章　インターネットでの被害（詐欺など）について
7	iBAT インターネット関連の法規	第3章　インターネットにおけるセキュリティや法律について
8	iBAT　インターネット利用者のモラル	第4章　利用者だけでなく情報発信者としてのモラルについて
9	iBAT　インターネットの仕組み	第5章　インターネットのしくみについて
１０	iBAT　コンピュータウイルス iBAT　セキュリティ	第6章　マルウェア等コンピュータウイルスについて 第7章　ユーザー認証等セキュリティについて
１１	iBAT　試験対策①	インターネットベーシックユーザーテスト模擬試験
１２	iBAT　試験対策②	インターネットベーシックユーザーテスト模擬試験
１３	Web上でのコミュニケーション	WebEXを使用し、他校とのコミュニケーションワーク
１４	iBAT　試験対策③	インターネットベーシックユーザーテスト模擬試験
１５	期末テスト	期末テストの実施

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
「iBut」インターネットベーシックユーザーテスト　テキスト 講義用資料（スライド）	期末テスト 小テスト 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
撮影演習		ネット動画クリエイター学科/１年	2024年度/前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位（90時間）	必須	若戎昭彦

授 業 の 概 要

・スマホ・ビデオ・デジイチのカメラ操作、三脚、マイク、照明の扱い方の練習

授業終了時の到達目標

・さまざまなカメラの特性を理解し、撮影場面に応じたカメラを使えるようになる
・撮影・録音に必要な三脚、マイク、照明の機器を扱えるようになる。
・露出に対する理解を深め、自分の意図する映像が撮れるようになる

実務経験有	実務経験内容
有	メジャーミュージシャンのMV制作に多数携わる。

時間外に必要な学修

積極的にTV番組を見てほしい。どんな番組でも、カット割りがされていて、撮影の勉強になります。また、テロップのデザインなども非常に参考になるので、バラエティ、スポーツ、歌番組などありとあらゆるジャンル見てほしいです。

回	テ ー マ	内 容
1	はじめに、スマホで撮影１	なぜこの授業があるのか？最後にどうなってほしいか？シラバスの説明、採点課題・テストについて。スマホで構図とる練習。基本はFIXカメラを動かすことなく撮りましょう。
2	スマホで撮影２	屋外でFIX撮影練習 GW宿題：意味は考えずに綺麗な瞬間をたくさん撮り溜めてください。それを繋いで1分以内のムービーにして
3	三脚＆ビデオカメラ１	FIXで構図をとる練習。１ショット（アップ、バスト、ルーズ、フル、ロング）２ショット、３ショット、学校の建物、風景など
4	三脚＆ビデオカメラ２	カメラワーク（パン、チルト、ズームイン・アウト、フォーカスイン・アウト）
5	デジイチ使ってみる１	電源入れる、録画する、再生する。露出について。シャッタースピード、絞り、ISO。構図とる練習。学内で自然光で綺麗に撮れる場所をさがす。
6	デジイチ使ってみる２	色温度について:ケルビン、太陽光は5500k、蛍光灯は3300kそれぞれのカメラでのWBのとりかた、
7	デジイチ使ってみる３	焦点距離：ボケをコントロールする
8	中間テスト	指定されたカメラで、シャッタースピード、絞り、ISO、WB操作できるか実技試験＆知識テスト
9	ライティング	照明の基本の考え方、光の回りかたをよく観察する インタビュー撮影のラ
10	インタビュー撮影１	一人へのインタビュー（屋内）（屋外）照明、ワイヤレスマイク 音の収録について、ワイヤレスマイク、ガンマイクの使い方
11	インタビュー撮影２	二人の対談の収録、イマジナリーライン、３カメ配置、スイッチャーATEM
12	シチュエーション撮影１	撮影実践・・・・〇〇紹介動画を作ってみよう！番組構成→撮影台本→ナレーション原稿の作成
13	シチュエーション撮影２	撮影実践

14	シチュエーション撮影３	撮影実践
15	シチュエーション撮影４	編集してみる＆８の字まきのテスト

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
世界一わかりやすい動画制作の教科書	スマホ撮影動画課題 中間テスト ケーブル８の字巻きテスト	４０％ ４０％ ２０％	

科　目　名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動画制作実習	ネット動画クリエイター学科/1年	2024/前期	実習

授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位（90時間）	必須	髙橋　潤

授　業　の　概　要

Adobe Premiereの基本操作と動画編集の知識を習得し、
動画編集に必要な基本的な編集方法を学ぶ。

授業終了時の到達目標

・動画制作に必要なAdobe Premiereの操作スキルを身につける

実務経験有無	実務経験内容
有	複数企業、官公庁の動画制作に携わっている

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1-3	Adobe Premiereの基本操作	Adobe Premiere基本操作、ファイル管理
4-6	カット編集	タイムライン、クリップ、トラック
7-9	テキストと図形の挿入	テキスト、テロップの挿入、装飾
10-12	エフェクト	エフェクト、調整レイヤー、トランジション
13-15	課題制作	課題制作
16-18	カラー調整	ホワイトバランス、明るさ、RGBカーブ、Lumetriカラー
19-21	合成処理	**ワイプ、マスク、クロマキー合成**
22-24	オーディオの編集	BGM、効果音、エッセンシャルサウンド、ノイズ除去
25-27	マルチカメラ編集	マルチカメラ編集、クリップの同期、インサート
28-30	動画制作課題①	マルチカット編集課題制作
31-33	動画制作課題①	マルチカット編集課題制作・修正
33-36	動画制作課題①	マルチカット編集課題制作・修正
37-39	動画制作課題②	課題制作
40-42	動画制作課題②	課題制作・修正
43-45	動画制作課題②	課題制作・修正

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
Premiere Pro よくばり活用辞典	課題制作	40.0%	
	出席	30.0%	
	授業態度	30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動画制作演習		ネット動画クリエイター学科/１年	R6年度/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
270分	45回	6(60)	必須	田中直美

授 業 の 概 要

前期に学習した、企画・撮影・編集を実践的に学ぶ授業。一つ目の課題では、正解となる映像と同じものを作ってみることで、映像制作の流れを体験します。二つ目の課題では、自由に企画を立ててもらい、撮影・編集などのスケジュールも考えながら、動画を完成させるまでを体験します。

授業終了時の到達目標

・どこの作業に、どのぐらいの時間がかかるのかわかるようになる。
・撮影においては、カメラ技術だけでなく、現場のスタッフに自分の撮影意図を正確につたえるられるようになること。
・編集においては、カットの意味を理解した編集ができるようになること。

実務経験有無	実務経験内容
有	愛媛CATVにて制作部に９年間所属。企画・撮影・編集の仕事に従事。

時間外に必要な学修

積極的にTV番組を見てほしい。どんな番組でも、カット割りがされていて、撮影の勉強になります。また、テロップのデザインなども非常に参考になるので、バラエティ、スポーツ、歌番組などありとあらゆるジャンル見てほしいです。

回	テ ー マ	内 容
1	課題1：課題CMと同じものを作ってみよう！	永谷園お茶漬け」のCMまたは、「オロナミンCでてこい元気篇」のCMと同じ物を作ってみ
2	撮影	
3	編集	
4	編集＆講評会	
5	課題2：自由制作	中尺（1分～5分いない）映像作品を企画、制作する
6	企画＆絵コンテ	
7	撮影	
8	撮影	
9	編集	
10	編集＆講評会	

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	課題1 課題2	40% 60%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ライブ配信基礎		ネット動画クリエイター学科/1年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	髙橋　潤

授　業　の　概　要
インターネットライブ配信の手法を学び、 企画番組や現場で必要なスキルを身につける。

授業終了時の到達目標
ライブ配信に必要な機材の扱い方、配信方法を身につける

実務経験有無	実務経験内容
有	複数企業、官公庁のライブ配信業務に携わっている

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　　容
1～3	ライブ配信の基礎知識	ライブ配信とは何か
4～6	ライブ配信の準備	必要な機材やソフトウェア
7～9	ライブ配信の配信画面の操作	配信画面の概要・カスタマイズ
10～12	ライブ配信の企画	コンテンツのアイデア出しと制作方法
13～15	課題の準備	課題の準備
16～18	課題のための練習	課題のための練習を行う
19～21	課題①	課題①の準備
22～24	課題①の発表	課題①の発表・講評
25～27	課題②	課題②の準備
28～30	課題②の発表	課題②の発表・講評

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
オリジナルスライド	課題制作 出席 授業態度	40.0% 30.0% 30.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
メディア発信web		ネット動画クリエイター学科／1年	2024／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	平田大・髙橋潤・谷本麻美

授　業　の　概　要
Webサイト、バナー、サムネイル画像などのWeb制作に必要な基本的なスキルを身につける

授業終了時の到達目標
デザインの基礎を身につけ、Web制作の基礎的なスキルを習得する

実務経験有無	実務経験内容
有	Webサイト制作、SNSメディア発信、動画制作など、インターネットメディア全般に通じる業務を行う。

時間外に必要な学修
課題制作

回	テ　ー　マ	内　　容
1～2	動機付け Webサイトについて	授業の目的やWeb発信の必要性、制作についての考え方を学ぶ
3～4	デザインの基礎①　色と形	色と形の考え方を学び、それに基づいたデータを作成する
5～6	デザインの基礎②　形と余白	形と余白の考え方を学び、それに基づいたデータを作成する
7～8	デザインの基礎③　四原則	デザインの四原則を学び、それに基づいたデータを作成する
9～10	練習課題	これまでの学びを活かした画像制作課題
11～12	ノーコードWebサイトの制作① サイトの意味、基本操作	Webサイトの重要点と制作に向けての企画・制作を行う STUDIOの基本的なツールを使い、ページを作成する
13～16	ノーコードWebサイトの制作② ワイヤーフレーム	情報の整理と掲載、ワイヤーフレームの制作
17～18	ノーコードWebサイトの制作③ サイトの企画、制作	STUDIOを使い、指示書に従ったWebサイトを制作する
19～20	ポートフォリオの作成	Bento.me、Folioでプロフィールページやポートフォリオサイトを作成する
21～22	最終課題制作①　企画～制作	指示されたテーマでのサイト、宣伝用アイテムの作成
23～24	最終課題制作②　制作	指示されたテーマでのサイト、宣伝用アイテムの作成
25～30	最終課題制作③　制作～公開	指示されたテーマでのサイト、宣伝用アイテムを作成し、公開する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
オリジナルスライド	課題・レポート 確認テスト 実習・実技評価	40.0% 30.0% 30.0%	確認テストは練習課題の、実習・実技評価は最終課題の評価とする

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
メディア発信　ＳＮＳ		ネット動画クリエイター学科/1年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	髙橋　潤・田中　宏樹

授　業　の　概　要
SNSをはじめとするインターネットを活用した情報発信方法を学ぶ。 手法だけでなく、コンテンツの作り方、効果測定などマーケティングの手法も学び、情報発信力を強化する

授業終了時の到達目標
・SNSの特徴を活用して情報発信ができる ・マーケティングの基本的な手法を理解する

実務経験有無	実務経験内容
有	複数企業、官公庁の動画制作に携わっている

時間外に必要な学修
積極的に情報発信をして実践してください。

回	テ　ー　マ	内　　　容
1～3	SNSと情報発信の基礎	SNSの役割と特徴と活用法・情報発信の重要性
4～6	コンテンツ企画の基礎	ターゲット設定・コンテンツの企画方法・トレンドの分析と活用法
7～9	SNSマーケティング	SNSマーケティングの基本・広告の活用法・インフルエンサーマーケティング
10～12	課題制作	動画コンテンツの制作
13～15	分析と改善	SNSの分析ツールの使い方・データの読み解き方・改善策の立案方法
16～18	プランニングワークショップ	グループでの企画立案・ターゲットやコンセプトの設定・プレゼンテーションとフィードバック
19～21	課題制作	グループでの動画コンテンツ制作
22～24	課題制作	SNSキャンペーンの企画と実行・フォロワーの獲得とエンゲージメントの向上方法
25～27	分析と改善の実践	実際に投稿したコンテンツの分析・改善点の特定と改善策の提案
28～30	総括と発表	学習内容の総括・プロジェクト発表・今後の個人の目標設定

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
オリジナルスライド	課題制作 出席 授業態度	40.0% 30.0% 30.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
総合動画実務Ⅰ		ネット動画クリエイター学科／1年	2024／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	田頭　潤一

授　業　の　概　要
講義および演習を通して、動画制作の一連の流れ「企画・提案・撮影・編集・発信」を実施する。 テーマに沿った動画を制作することで、動画制作の基礎スキルを身につける。

授業終了時の到達目標
・動画制作の一連の流れ「企画・提案・撮影・編集・発信」を習得する

実務経験有無	実務経験内容
有	フリーランス動画クリエイターとして企業の動画やブライダルカメラマン、 空撮など動画制作に携わっている

時間外に必要な学修
動画制作ツール、デザインツールを復習として操作して作業に慣れる

回	テ　ー　マ	内　　　容
1-6	テーマの確認・思案 企画検討・立案	テーマをもと内容を決定 目的・ターゲットを思案し、企画検討・立案
7-28	課題制作	撮影および編集作業を行う
29-30	課題制作	プレゼンテーション形式にて課題発表を実施

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	出席率 課題・レポート	20.0% 80.0%	

科　目　名	学科／学年	年度／時期	授業形態
デザインツール演習	ネット動画クリエイター学科／1年	2024／前期	演習

授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	長島　祐未

授　業　の　概　要

業界標準となっているグラフィックソフトウェアのオペレーションを学ぶ。また、画像データの基礎知識やグラフィックデザインの概念についても合わせて学習する。

授業終了時の到達目標

・グラフィックソフトの基本的な操作を行う事ができる
・画像データについての基礎知識を身に付けている
・グラフックデザインの概念を理解する

実務経験有無	実務経験内容
有	DTPオペレーター、デザイナーの経験有

時間外に必要な学修

・授業の復習および次回の予習
・自主的な画像編集

回	テ　ー　マ	内　　　容
1	・グラフィックソフトで何をする？ ・グラフィックデザインとは？	・グラフィック編集ソフトについて解説する。 →PhotoshopやIllustratorでどんなことが出来てどう活用するのか、学生が具体的にイメージ出来るように講義する。 ・データの概念と画像データ、画像形式、dpiについて学ぶ。 ・グラフィックデザインの基本的な考えやルールについて講義する。
2	・Photoshopとは？ ・Photoshopの基本操作について	Photoshopの使用例と活用法を知る。Photoshoprの起動、ファイルの開き方、新規ファイルの作成、環境設定、保存の仕方、作業エリア、画面表示に関するツールについて学ぶ。
3～4	・選択範囲を作成して編集する ・画像を移動したり変形させたりする	・選択ツール、選択ツール以外の機能を使って自由に編集する範囲を選択できることを学ぶ。 ・画像解像度や画像サイズについて理解し用途に合った設定にできるように学ぶ。
5～8	・色調補正について ・ペンツールについて ・レタッチツールについて	写真の補正作業を通して、色調補正機能、ペンツールとレタッチツールを使って画像をイメージ通りの色に編集したり、描画・塗りつぶしや修正・加工出来るように学ぶ。
9～10	・レイヤー操作について ・パスとシェイプについて	バナーの制作を通して、パス・シェイプ、レイヤー操作、文字入力＆編集について学ぶ。
11	・フィルター機能について	フィルター機能を使って画像に特殊加工をする方法を学ぶ。
12～13	・写真を合成する	写真を切り抜きし合成する作業を通して実践的なPhotoshopの操作を身につける。
14～15	・今まで学んだPhotoshopの機能を使ってオリジナルのフォトカードを作ろう	現在まで学んだPhotoshopスキルを使って、テーマに沿ったポストカードを制作する。（合成・切り抜き・色調補正・文字入力を必ず使用することを条件とする）
16	・Illustratorとは？ ・Illustratorの基本操作について	Illustratorの使用例と活用法を知る。Illustratorの起動、ファイルの開き方、インターフェース、環境設定、アートボード・用紙設定、保存の仕方について学ぶ。
17	・ツール機能について	基本ツールの操作、オブジェクトの基本操作、カラー設定について学ぶ。
18	・文字入力と編集について ・パスファインダー・整列機能について	文字入力・編集、パスファインダー、整列機能について学ぶ。
19	・ペンツール機能の基本について	ペンツールを使って直線・曲線を描けるようになる。

20～24	・ペンツール機能を使ってイラストを描こう	ペンツールを使って、イラストをトレースすることを通してペンツール機能を使いこなせるようになる。
25	・グラデーションツールについて ・メッシュツールについて	グラデーションツール／メッシュツールについて学ぶ。
26～29	・グラフィックデザインとは？② ・IllustratorとPhotoshopを使ってサムネイルを作ろう	・グラフィックデザインのポイントをもう一度振り返る ・上記のことを学んだ上でワークを行う。（第26回～第29回） 【ワーク：条件に沿った動画のサムネイルを作ろう】
30	・課題の発表およびまとめ	・第26回～第29回まで取り組んだ課題の発表と講評を行う ・この演習のまとめを行う

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
◆自作ワークショップ課題	出席率	20.0%	
	実習実技	50.0%	
	期末課題	30.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
修了制作		ネット動画クリエイター学科／1年	2024／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	田頭　潤一

授　業　の　概　要
1年次学習の総括としての作品制作、およびプレゼンテーションを実施する。

授業終了時の到達目標
・自分自身の想いを相手に伝えるプレゼンテーションができるようになる ・自分自身の想いを相手に伝える作品制作ができるようになる

実務経験有無	実務経験内容
有	フリーランス動画クリエイターとして企業の動画やブライダルカメラマン、 空撮など動画制作に携わっている

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　　容
1～2	テーマの確認・思案 企画検討・立案	テーマをもと内容を決定 目的・ターゲットを思案し、企画検討・立案
3～4	計画、スケジュールの作成	中間発表、最終プレゼンテーションまでの予定を作成する
5～6	イメージボードの作成	企画内容をもとにイメージボード（ラフ案）を制作
7～10	動画制作	動画制作における企画の展開方法を検討・制作
11～12	プレゼンテーション準備	中半発表に向けての準備を行う
13～14	中間プレゼンテーション	制作発表（各自質問＆アドバイス）
15～19	動画制作	動画制作・修正
20～21	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションの準備を行う
22～23	プレゼンテーションリハーサル	プレゼンテーションリハーサル
24～25	修正、制作作業	修正、制作作業
26～27	プレゼンテーション	プレゼンテーションを行う
28～30	修正、制作作業	修正、制作作業

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	出席率 授業態度 課題・レポート	10.0% 20.0% 70.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
メディア論		**ネット動画クリエイター学科/1年**	**2024/前期**	**講義**
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	田中　宏樹

授 業 の 概 要

動画メディアで情報を伝えるとはどういうことか。
動画メディアを活用するために必要な知識を学習する。

授業終了時の到達目標

基本目標　C評価　・教員の解説に従って企画書やプレゼンテーションを完成させせることができる。
標準目標　B評価　・企画書、プレゼンテーションの締め切りを守り行うことができる。
発展的目標　A評価　・動画の持つ特性を理解し、企画書を作成しプレゼンテーションを行うことができる。

実務経験有無	実務経験内容
有	**複数企業のTV-CM、PV、WEB動画に携わっている**

時間外に必要な学修

回	テーマ	内 容
1	メディアってそもそも何？	授業の概要説明。メディアとは何なのか。メディアの基礎知識
2	動画の基礎知識	"動画の基礎知識、(基本用語)　動画制作のワークフロー"
3	メディアで発信するとは	フレーミング効果・メラビアンの法則　動画を発信する際に考えるべきこと
4	企画書の基本	企画書に必要な知識・動画の企画書に必要な知識
5	企画書を分解・分析する	実際の動画企画書を分解・分析する
6	A4で1枚企画書を制作する	A4 1枚の文字のみの企画書を制作する。 テーマ「NVCの学生募集に関する動画企画」
7	イラスト・図をのせた企画書の作り方の基本	イラストや図をのせて作るときの企画書の基本知識を学習
8	企画書・提案書の作成	A4 1枚の企画書を基にパワーポイント・イラレ・Googleスライド・canvaなどを使用し図やイラストをのせた企画書の作成
9	企画書・提案書の作成	A4 1枚の企画書を基にパワーポイント・イラレ・Googleスライドなどを使用し図やイラストをのせた企画書の作成
10	プレゼンテーションの基本	プレゼンテーションの基本知識
11	プレゼンテーション　練習	各校で数人のグループを作り、プレゼンテーションの練習
12	プレゼン用資料の修正	次週の本番プレゼンテーションに向けて資料を作り直す
13	プレゼンテーション	各校でプレゼンテーション 1人5分を目安に。 （人数の少ない学校は最終調整をしつつ各校プレゼンテーションに向けて備える）
14	プレゼンテーション	各校でプレゼンテーション 1人5分を目安に。 （人数の少ない学校は最終調整をしつつ各校プレゼンテーションに向けて備える）
15	プレゼンテーション	オンラインで他校に向けて各校の代表者2名がプレゼンテーション

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
オリジナルスライド やさしい・かんたん企画書・提案書 やさしい・かんたんプレゼンテーション	A4企画書 プレゼン用企画書 プレゼンテーション	25% 25% 50%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
映像デザイン		ネット動画クリエイター学科/1年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	髙橋　潤・田中　宏樹

授　業　の　概　要

Adobe AfterEffectsの基本操作と動画編集の知識を習得し、
動画編集に必要なアニメーションや効果的な編集方法を学ぶ

授業終了時の到達目標

・動画制作に必要なAdobe AfterEffectsの操作スキルを身につける
・身につけた基本的な操作感を元に自身で制作したい表現方法を習得できるようになる

実務経験有無	実務経験内容
有	複数企業、官公庁の動画制作に携わっている

時間外に必要な学修

チュートリアルなどを参考にどんどん操作に慣れてほしい

回	テ　ー　マ	内　　容
1～3	Adobe AfterEffectsの基本操作	動画制作に必要なAdobe AfterEffectsの操作スキルを身につける
4～6	コンポジションとキーフレーム	コンポジションとキーフレームを理解しよう
7～9	ツール	After Effectsのツールを使いこなそう
10～12	色編集と合成モード	トーンカーブ・レベル補正・色相・描画モード
13～15	エフェクト	よく使うエフェクトを理解しよう
16～18	3Dレイヤー	3Dレイヤーでアニメーション作成
19～21	オリジナル表現	様々な映像作品の表現を取り入れる
22～24	課題制作	課題制作
25～27	課題制作	課題制作
28～30	課題制作	課題制作

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
オリジナルスライド	課題制作 出席 授業態度	40.0% 30.0% 30.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
テロップデザイン		ネット動画クリエイター/1年	R6/後	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2（30）	必須	田中直美

授　業　の　概　要

・教科書にそってIllustrator、Photoshop、PremierProでのテロップデザインを経験する。
・静止したものだけでなく、動くテロップも作ってみる。
・架空の番組のタイトルデザインに取り組む。

授業終了時の到達目標

・Illustrator、Photoshop、PremierProでのテロップデザインを経験する。
・デザインの基本的な概念を理解する
・テロップデザインの特徴を理解し、使いこなせるようになる

実務経験有無	実務経験内容
あり	番組企画・撮影・編集業務　9年間

時間外に必要な学修

TV番組や、SNS、youtubeの番組で気になったテロップがあったら、写真に撮るなどしてみてください。あなたのデザインストックをドンどん増やしていきましょう。

回	テ　ー　マ	内　　容
1	STEP1 テロップの基本を知ろう	教科書008-019 フォントのインストール
2	STEP2 テロップのためのデザイン知識1	教科書020-031 SECTION1-3
3	STEP2 テロップのためのデザイン知識2	教科書032-047 SECTION4-7
4	STEP2 テロップのためのデザイン知識3	教科書048-055 SECTION8-10
5	STEP2 テロップのためのデザイン知識4	教科書056-067 SECTION11-12
6	STEP3 テロップの基準を決めよう	教科書068-087
7	中間テスト STEP5 テロップのブラッシュアップ	中間テスト 教科書098-131
8	STEP6 文字以外のテロップ表現	地図
9	STEP7 テロップを動かそう1	ネームカードに動きをつけよう
10	STEP7 テロップを動かそう2	
11	実践課題 架空の番組テロップ制作1	架空の番組タイトルデザイン、ネームカード、ショルダーテロップの作成
12	実践課題 架空の番組テロップ制作2	
13	実践課題 架空の番組テロップ制作3	
14	実践課題 架空の番組テロップ制作4	
15	実践課題 架空の番組テロップ制作5	

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
伝わる！動画テロップの作り方	中間テスト 地図 ネームカード 実践課題	20% 20% 20% 40%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
Office演習		ネット動画クリエイター 学科/ 1年	2024／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	１単位（30時間）	必須	本村　みづき

授　業　の　概　要
この授業は、職業人として不可欠となっている、コンピュータ操作の基本を身に付けることを目的とした科目です。表計算ソフトウェアの活用技術を習得していることは、実社会でのご有無を行う上で有益です。この実習では、企業において一般的に利用される表計算ソフトウェアである、Microsoft Office Excelについて、データ入力、関数の利用、グラフ作成、データベース機能の利用など、具体的な操作法穂を学習します。

授業終了時の到達目標
Excelの操作及び、具体的な問題の解決など、目標を達成するための手段、道具として「Excelを使う」ということを実践的に学び、より効率的にコンピュータを活用できることを目標とします。

実務経験有無	実務経験内容
有	５年間医療情報システム販売会社にてインストラクターとして従事。 顧客管理等でExcel実務経験あり。

時間外に必要な学修
毎日１０分間のタイピングを欠かさず行ってください。タイピングが上手になると操作技術も向上します。

回数	テ　ー　マ	内　　　容
1	オリエンテーション	・パソコンセッティング・クラスルームの使い方 ・この授業について（評価方法等）
2	表の作成Ⅰ	・ワークシートにデータの入力・ワークシートのデータの操作
3	表の作成Ⅱ	・ワークシートの書式設定・ブックの書式設定 ・オプションと表示のカスタマイズ
4	表の編集Ⅰ	・セルやセル範囲の書式設定・名前付き範囲の定義 ・ブック内の移動
5	表の編集Ⅱ	・組み込みの条件付き書式の適用・条件付き書式の削除
6	印刷と保存	・共同作業のためのコンテンツを設定する ・ブックの基本的なプロパティを変更する
7	数式と関数Ⅰ	・セル参照について・データを計算する・文字列を成型する
8	数式と関数Ⅱ	・文字列を変更する・数式を表示する
9	グラフの作成Ⅰ	・様々なグラフを作成・変更する・グラフを書式設定する ・スパークラインを挿入する
10	データベース機能Ⅰ	・テーブルを作成する・テーブルを書式設定する ・テーブルに名前を付ける・テーブルを変更する
11	MOS試験対策Ⅰ	・第1回模擬試験と解説
12	MOS試験対策Ⅱ	・第2回模擬試験と解説
13	MOS試験対策Ⅲ	・第3回模擬試験と解説
14	MOS試験対策Ⅳ	・第4回模擬試験と解説
15	MOS試験対策Ⅴ	・第5回模擬試験と解説

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
MOS攻略問題集Excel2019 よくわかるマスターMOS Excel2019	出席率 学習に対する心構え（学生の手引き） 模擬テスト 検定点数	20.0% 30.0% 20.0% 30.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		ネット動画クリエイター学科／1年	2024／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	平田　大

授　業　の　概　要
就職活動・社会人生活に必要な心得や知識、立ち振る舞いを学び、練習する。

授業終了時の到達目標
就職活動に必要な考え方やスキルおよび社会で活躍するライフスキルが身についている。

実務経験有無	実務経験内容
有	Web系開発・運営業務を中心として、エンジニアリング・デザイン・企画・営業などを経験。

時間外に必要な学修
次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う

回	テ　ー　マ	内　　　容
1	オリエンテーション	社会人基礎講座Ⅱの目的と達成目標について
2	マンダラートを使った自己分析	マンダラートを用い、自分を見つめ直す。
3	自己PRを考える①	自分の長所をピックアップし掘り下げる。
4	自己PRを考える②	自己PRを文章にする。
5	社会人としての言葉遣い	敬語や謙譲語など、社会人として相応しい言葉遣いを学ぶ。
6	メールの書き方とマナー	企業とメールのやり取りをするときのポイントについて確認する。
7	業界・職種について	自身の目指す業種・職種について理解する。 ※目指す業界以外についても知っておこう
8	求人票の確認ポイント	求人票からどのような情報が手に入るかを確認する。
9	履歴書の書き方について	履歴書各項目記入のポイントや注意点について確認する。
10	志望動機を考える	企業を想定し、なぜ志望したかを文章にする。
11	就活に相応しい身嗜みと準備物 履歴書の下書き	就職活動に相応しい身だしなみと必要な準備物を確認する。履歴書の下書きを確認、OKの場合は冬休み中に清書を行う。
12	身嗜み・準備物のチェック① 挨拶と姿勢（立ち方・座り方）	就活スタイルで登校し、身嗜み及び準備物のチェックを行う。挨拶の種類や立姿勢、着席時の姿勢について確認、練習する。
13	身嗜み・準備物のチェック② 企業訪問や面接時の立ち振る舞い 履歴書完成・提出	就活スタイルで登校し、身嗜み及び準備物の再チェックを行う。企業訪問や面接時にどのような行動をとればよいかを確認、練習する。冬休み中に清書した履歴書を提出、不備がある場合は書き直して再提出。

14	グループディスカッション	入社試験「グループディスカッション」を体験する。
15	今までの振り返り	学びの振り返りと確認を行う。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	課題・レポート 授業態度 出席率	40.0% 30.0% 30.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎Ⅰ		ネット動画クリエイター学科/ 1年	2024／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	平田　大

授　業　の　概　要

在学中の学生生活、学習への取り組みついて確認すると共に、就職に向けた準備を行う。

授業終了時の到達目標

学習・学校生活に取り組む事への前向きな意識を持ち、就職に向けた準備を始める事ができる。

実務経験有無	実務経験内容
有	Web系システム開発運営業務を中心として、エンジニア/Webデザイナー職を経験。

時間外に必要な学修

学習内容の復習

回数	テ　ー　マ	内　　容
1	卒業までの学校生活について	カリキュラムの説明 資格試験の説明
2	就職活動までの学校生活	就職活動の概要 目標となる業界の説明
3	3年後の自分	3年後の自分を想像してみる 10年後の自分を想像してみる
4	なりたい自分になるには	何になりたいのか。どうやったらなれるのかを考えてみる。
5	就職について考える	就職と就職活動について学習する
6	自己分析①	自己分析を行い、自分の強みや弱みについて客観的に考える
7	自己分析②	自己分析を行い、自分の強みや弱みについて客観的に考える
8	社会と自分	社会と自分の関係性について考える
9	社会の職業	一般的な職業について確認する
10	コミュニケーション	コミュニケーションの大切さを学習する
11	グループディスカッション①	コミュニケーションについて実践的に学ぶ
12	グループディスカッション②	コミュニケーションについて実践的に学ぶ
13	習慣について	習慣づけの大切さについて学習する
14	ロジカルシンキングについて	論理的な思考手法について学習する
15	前期のまとめと今後の取り組みについて	前期学習の総括と、夏休み以降の過ごし方や取り組みについて

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・配布プリント ・スライド	出席率 提出物	10.0% 90.0%	